

## 病床機能再編支援事業計画書(奥尻町国民健康保険病院)

構想区域	南檜山
病床の減少又は統合を実施する医療機関名(法人名)	奥尻町国民健康保険病院
地域の状況 (地域の医療提供体制、病床の減少又は統合を実施する医療機関の圏域における役割など)	<p>○檜山振興局管内の離島に立地する病院。</p> <p>○第一次医療の提供から二次救急告示病院として24時間、365日急患を受け入れ。</p> <p>○医師は常勤医2名の他、航空自衛隊医官の通修や島外医療機関からの派遣で対応。 (医師・看護師・コメディカルの定数確保、維持に苦慮している。)</p> <p>○人口減少の影響を受け、患者数が激減、減収減益となっている。</p> <p>○建物も築47年が経過し、老朽化が著しく、建替え検討も財源を考慮し、当面は修繕で維持することとした。</p> <p>○赤字額について、全額を一般会計から繰り出すことはできないため、累積欠損金が多額となっている。</p>
病床の減少のスケジュール	<p>一般病床7床を削減し17床に、療養病床7床を削減し23床に、計40床への削減を予定。</p> <p>OR4. 6. 24 地域医療連携推進法人メディカルネットワーク令和4年度第1回理事会・社員 総会で報告</p> <p>OR4. 7. 26 南檜山保健医療福祉圏域連携推進会議地域医療構想専門部会で説明・協議</p> <p>OR4. 8月 南檜山保健医療福祉圏域連携推進会議(書面開催)で協議予定。</p> <p>OR4. 9月 推進会議での合意を受け、奥尻町議会定例会に病床削減条例を上程し、議決 予定。、</p> <p>OR4. 10. 1 厚生局への届出、承認を経て、施行を予定。施行後、江差保健所に届出予定</p> <p>OR5. 2月 北海道医療審議会に報告(江差保健所から上申)</p> <p>OR5. 3月 「病床機能再編支援事業費給付金」申請</p>
病床の減少又は統合が地域医療構想の達成に必要(地域医療構想に資する)と考えられる理由	<p>病床機能報告からも、近年の奥尻町国保病院の一般病床数、療養病床数は過剰な状態が続いていることから、適正数にするため病床削減することが地域医療構想に資すると考えます。(病床稼働率 37.4%～令和3年度)</p> <p>離島唯一の病院であるため、独立性が強く、圏域内の他の病院とは性質自体が大きく異なるため、圏域における役割、機能分担、連携への影響となると特段強調すべきものはないと思われませんが、病床削減は圏域内全体の適正病床数にするための一助となると考えます。</p>
今後の方向性	<p>○ 今後、高齢化が進み、人口減が予想されることから、「在宅療養」に注力していく。</p> <p>奥尻町国民健康保険病院がチーム医療の中心となり、包括支援センター(行政)・介護等と 関係を図り、これまで以上に取組みを進めていく。</p> <p>少ない「人資源」を有効に活用できるよう、効果的な事業の実施を検討する。 (例えば、通信を活用した診療等の実施)</p> <p>また、在宅療養中の住民に何かがあった場合に対しても、第一次医療の提供から二次救 急告示病院として24時間、365日急患を受け入れを引き続き実施していくこととしており、住 民の不安は払拭できる。</p>

① 奥尻町国民健康保険病院病床削減内訳  
(病床種別から見た「許可病床数」)

奥尻町国民健康保険病院	2021年許可病床数 (R3.7.1現在)	病床削減予定数	削減後病床数
一般	24	▲ 7	17
療養	30	▲ 7	23
精神	0	0	0
結核	0	0	0
感染	0	0	0
計	54	▲ 14	40

② 地域医療構想必要病床数との対比(病床機能からの考察)

南檜山圏域	2021年許可病床数 (R3.7.1現在)	病床削減予定数 (奥尻町国保分)	削減後病床数	2025年必要病床数 (地域医療構想病床推計)
高度急性期	0	0	0	0
急性期	139	▲ 7	132	56
回復期	16	0	16	119
慢性期	166	▲ 7	159	70
休棟等	112	0	112	0
計	433	▲ 14	419	245

許可病床及び2025年の病床数と地域医療構想（必要病床数）との比較

南檜山圏域	許可病床数 (H28.7.1現在)	2021年許可病床数 (R3.7.1現在)	2025年必要病床数 (地域医療構想病床推計)
高度急性期	0	0	0
急性期	175	139	56
回復期	0	16	119
慢性期	187	166	70
休棟等	71	112	0
計	433	433	245

